

IHE報告 4

採血管準備とIHE

2008/10/11

日本IHE協会

株式会社テクノメディカ 平沢 修*
大阪医科大学附属病院 井口 健

採血管準備とIHE

- 採血管準備に関するIHE統合プロファイル
LBL (Laboratory Barcode Labeling)
- 登場するアクタ

LB

Label Broker

役割: 検体ラベル発行
実体: 採血管準備装置、オートラベラー

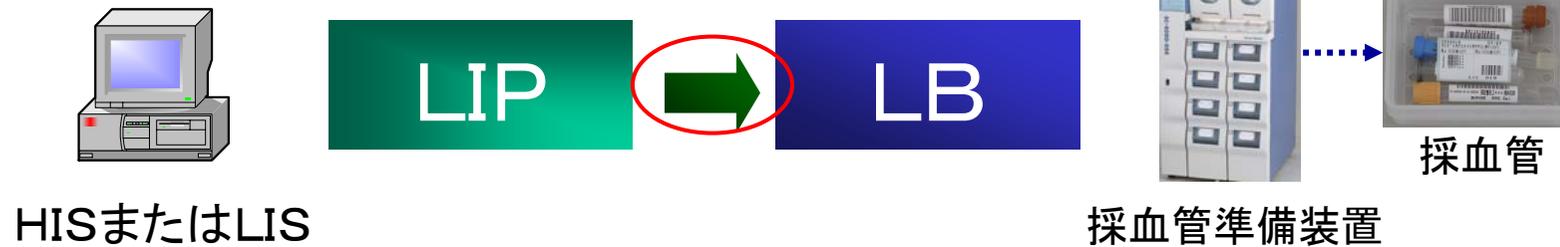
LIP

Label Information Provider

役割: ラベル情報送信
実体: HISまたはLIS

LBL (Laboratory Barcode Labeling)

● トランザクション(通信手順) LAB-61 (ラベル発行指示)



LAB-62 (ラベル情報要求)



通信電文例 LAB-61 (ラベル発行指示)

HL7 Ver2.5 で記述 メッセージの順番、項目の内容について規定

```

MSH|^~\&|LIP ITEC|IHE-J^LIP|LB|IHE-J^LB|20080204161115||OML^O33^OML_O33|200802
04161115|P|2.5||||~ISO IR87||ISO 2022-1994]
PID|||000000001^~~~PI||アイテック^阪神^~~~~L^I^アイテック^ハンシン^~~~~L^P||19730305|M|
||東京都港区芝浦1-12-3^~~~~105-0023^H||03-3798-1012^PRN^PH]
PV1||O|01^~~~~C]
SPM|1|94000025&LB&02040001001||023^血清^JC10||||||20.0^ml||||INF^感染症|20080204||||
||||001^茶・生化学]
ORC|NW|94000025|||||20080204161115||ITEC001^アイテック阪神医^~~~~~L^~~~~I^ITEC.
DR^~~~~~L^~~~~P|01^~~~~C||||01^内科|||||||O]
TQ1|1|||||20080204||R]
OBR|1|94000025||001^茶・生化学^L||20080204||||||ITEC001^アイテック阪神医^~~~~~L^~~~~
^I^ITEC. DR^~~~~~L^~~~~P]
SPM|2|94000025&LB&02040001002||023^血清^JC10||||||7.0^ml||GL|REF^室温|INF^感染症|
20080204|||||||002^灰・血糖]
.....

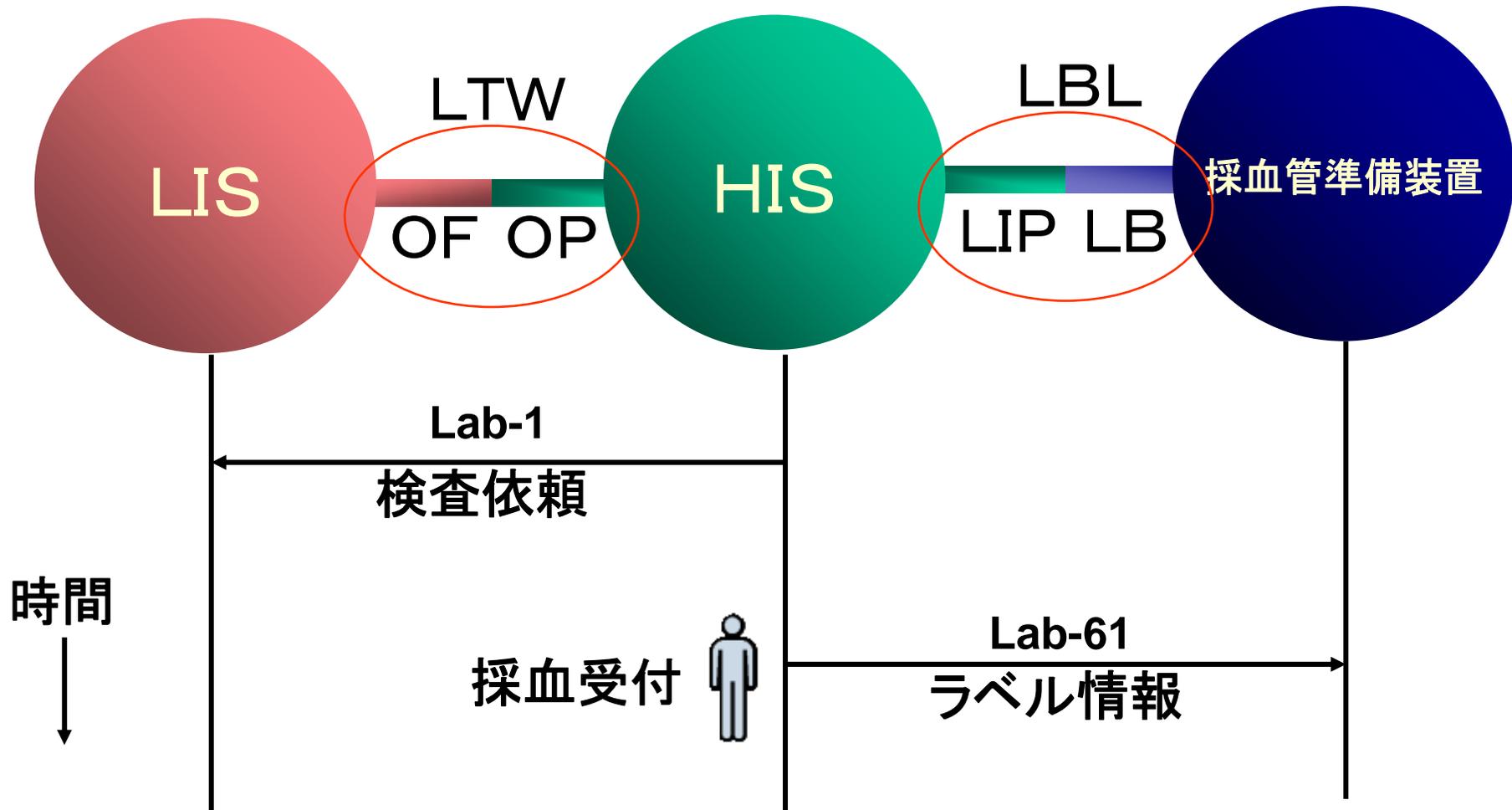
```

LBLの業務モデル

No.	受付	ラベル生成	ラベル発行 指示	トランザクション (通信手順)
1	HIS	HIS	HIS	LAB-61
2	LIS	LIS	LIS	LAB-61
3	HIS	LIS	HIS	LAB-61
4	採血管準備	HIS	HIS	LAB-62
5	採血管準備	LIS	LIS	LAB-62

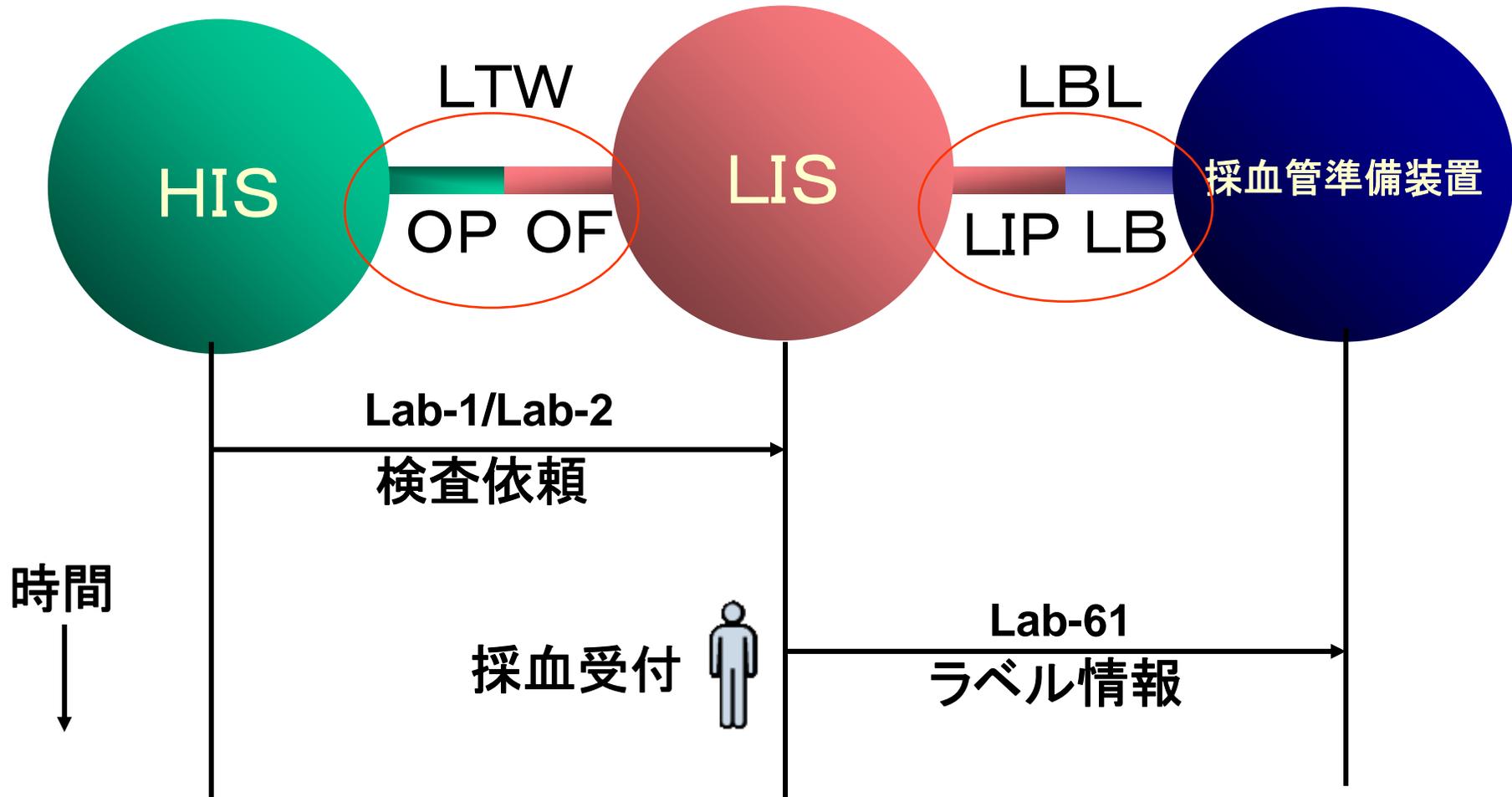
業務モデル No.1

＜HISが採血管準備装置にラベル情報を送信＞



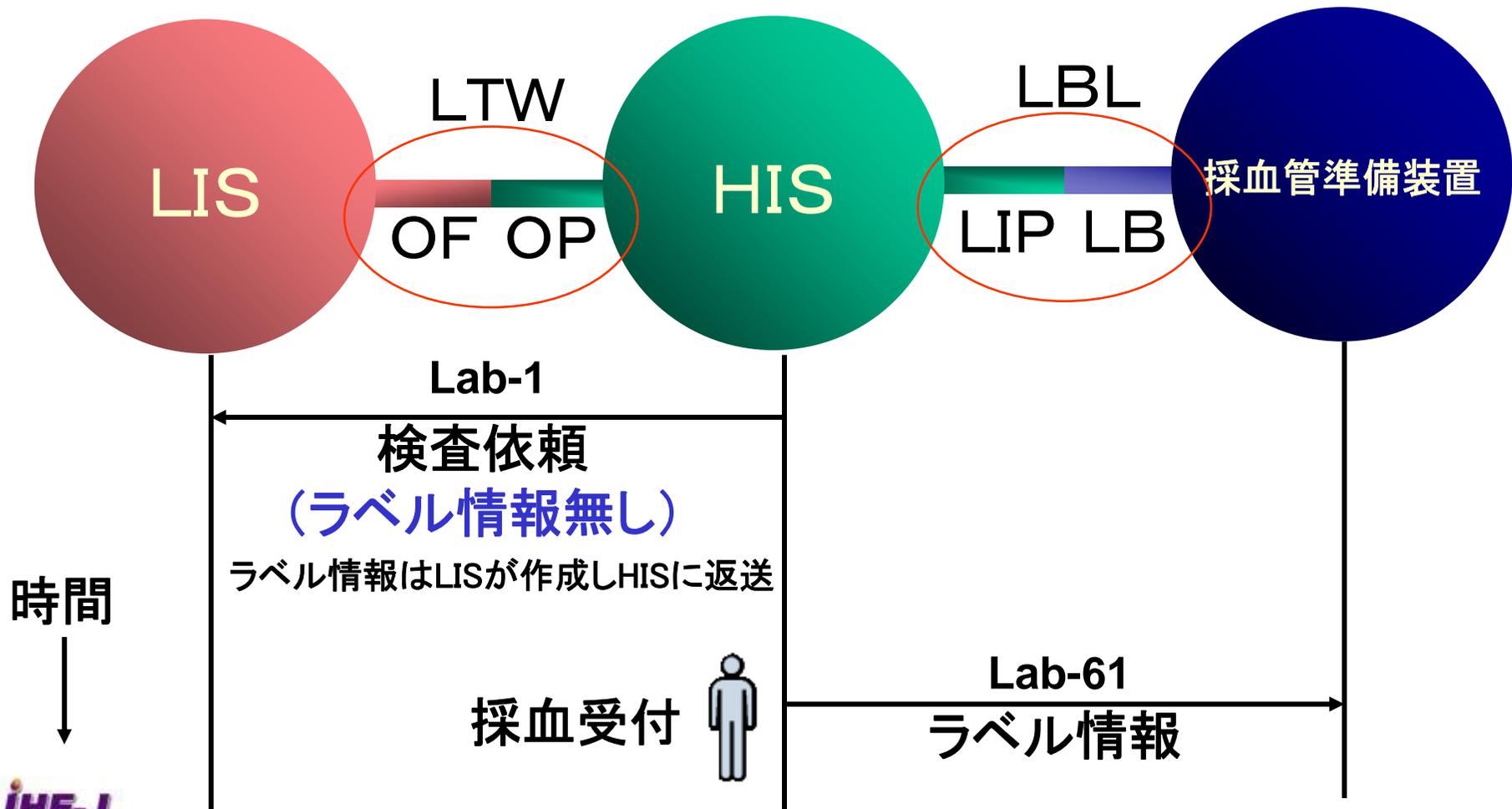
業務モデル No.2

＜LISが採血管準備装置にラベル情報を送信＞



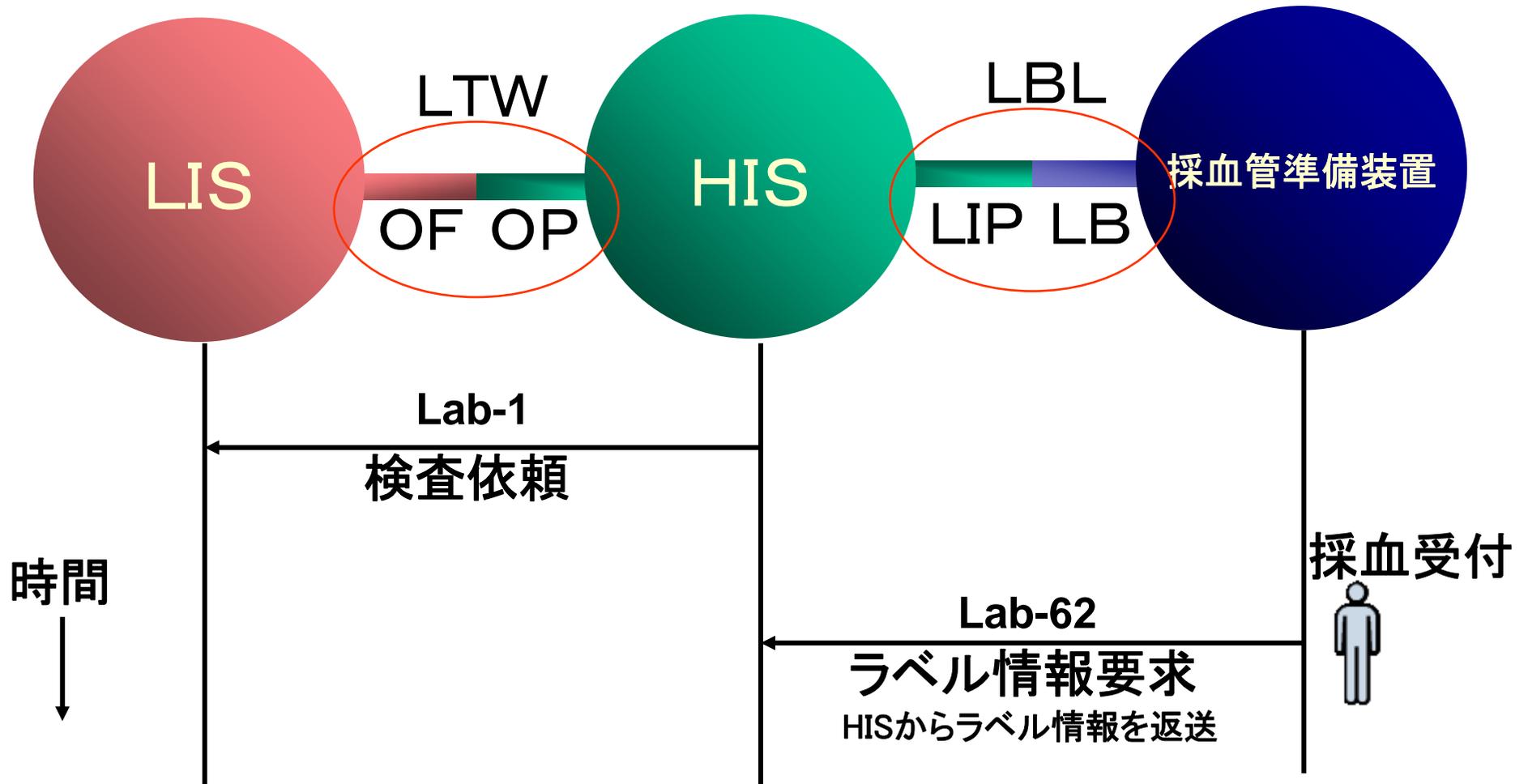
業務モデル No.3

＜HISが採血管準備装置にラベル情報を送信＞
 (ラベル情報はLISが作成)



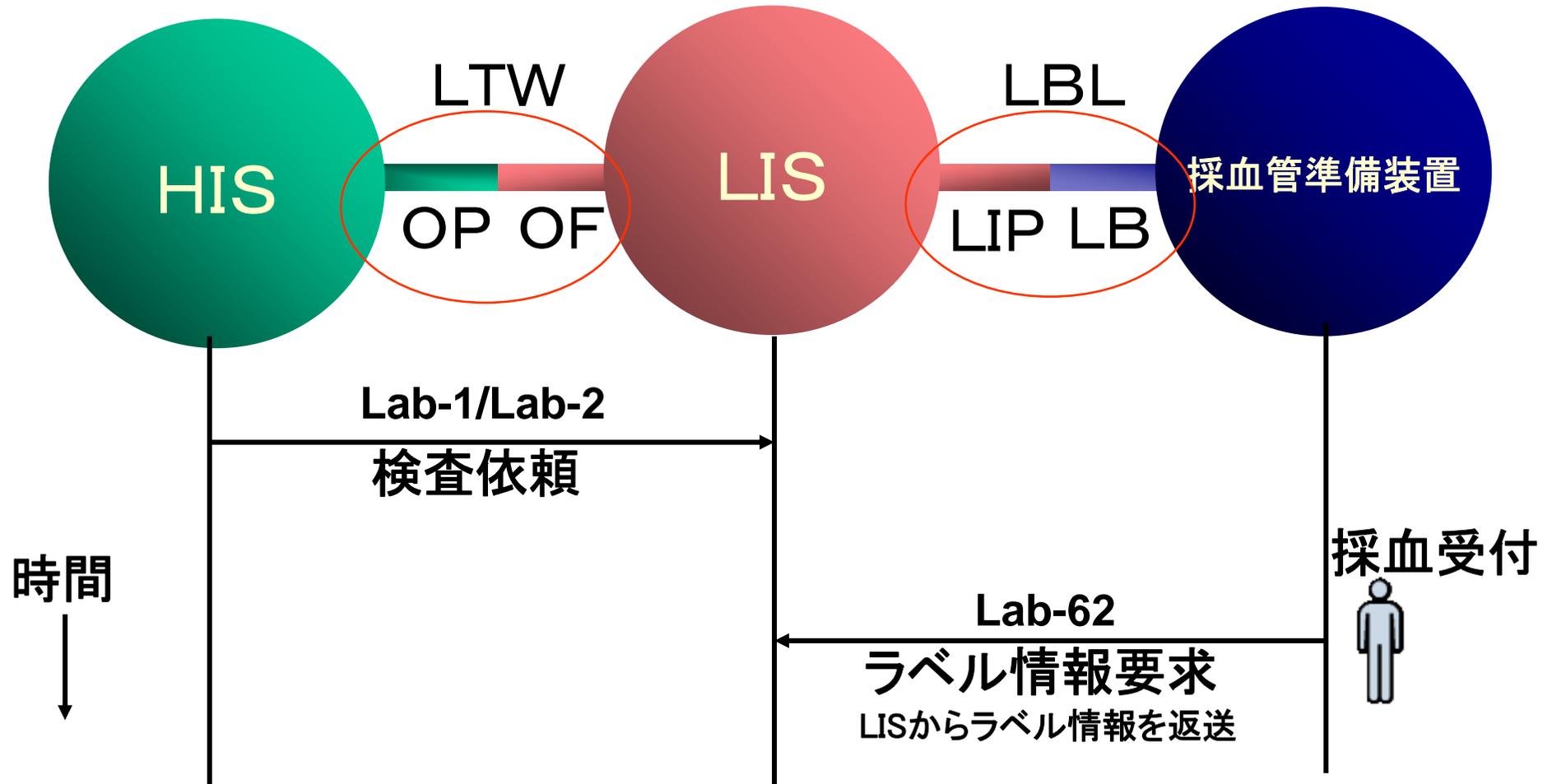
業務モデル No.4

<採血管準備装置からHISにラベル情報要求>



業務モデル No.5

<採血管準備装置からLISにラベル情報要求>



コネクタソン2007評価結果

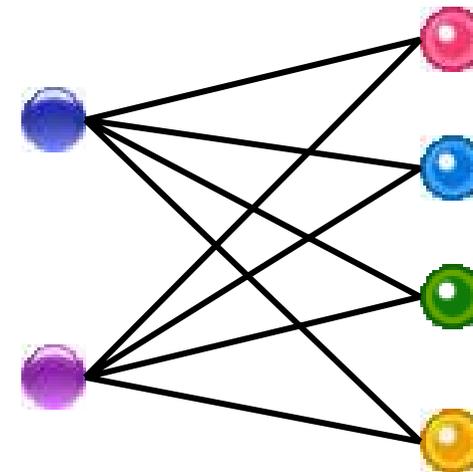
DOMAIN	Laboratory							
	LBL		LDA		LTW			
IINTEGRATION PROFILE	Label Broker	Label Information Provider	Automation Manager	Analyzer	Pre Post Processor	Order Filler	Order Placer	Order result Tracker
(株)エイアンドティー	●	●	●	●	●	●		
(株)シーエヌエー	●	●				●		
富士通(株)	●	●				●	●	●
(株)日立製作所							●	●
(株)日立ハイテクノロジーズ				●	●			
アイテック阪急阪神(株)		●	●			●		
小林クリエイト(株)	●							
日本電気(株)						●	●	●
(株)両備システムズ							●	●
(株)ソフトウェア・サービス							●	●
(株)テクノメディカ	●							

LBL



2社

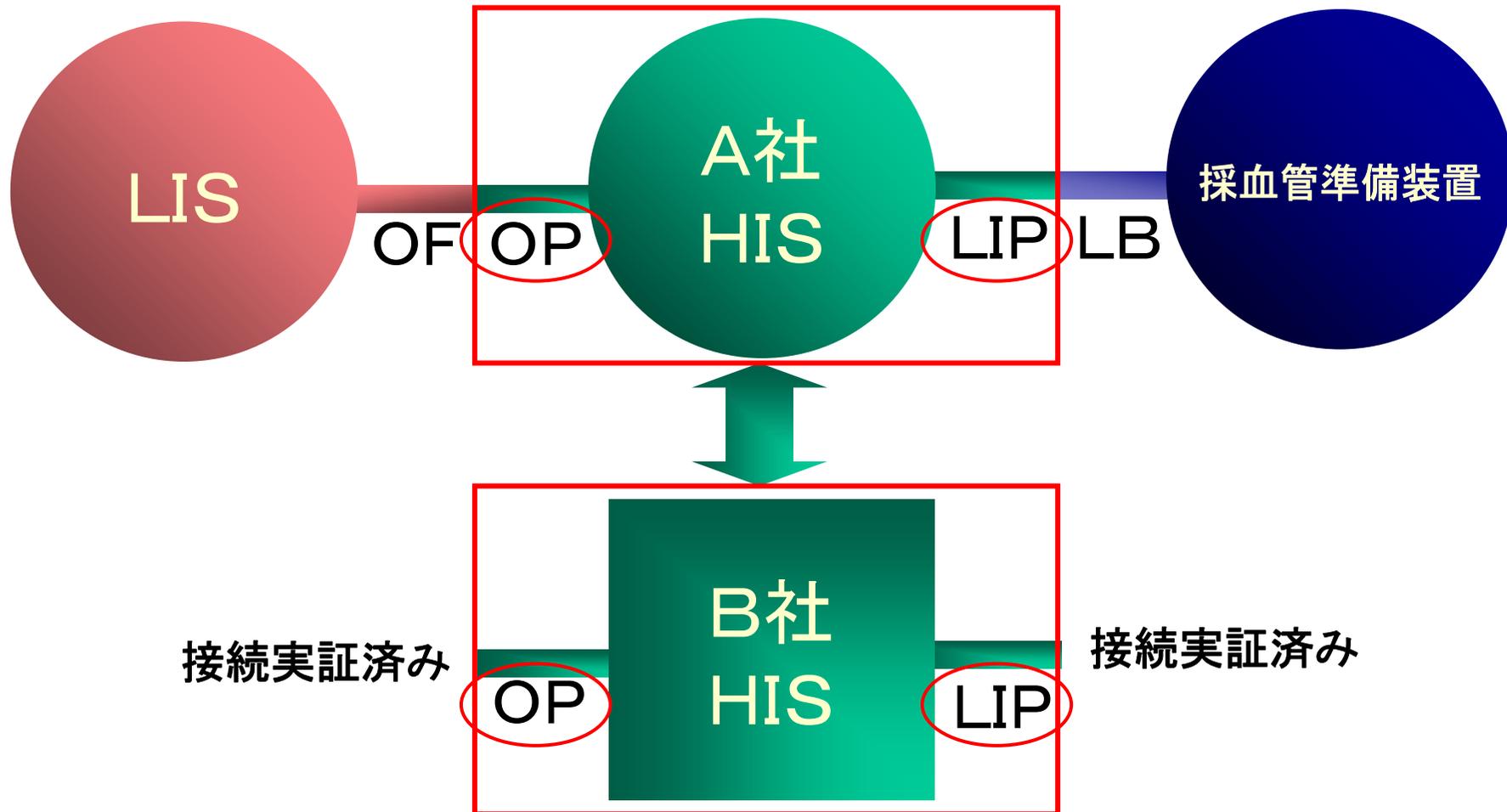
4社



全組合せについてテストし
すべて合格となった。

(業務モデルNo.2と5について実施)

IHE導入によるメリット



部門間の接続に関わるコスト、時間を削減可能



Integrating the Healthcare Enterprise - Japan



日本IHE協会 <http://www.ihe-j.org>